

うらおそい歴史新聞



第 24 号
平成 27 年

○うらそえの考古資料展『チチフチャー洞穴遺跡展』開催中です

浦添市がこれまでに発掘調査した遺跡のうち、今回は昭和 61（1986）年に市の史跡に指定された『チチフチャー洞穴遺跡』の出土品（遺物）を初めて公開します。

展示会では、出土品だけではなく、発掘調査当時の写真やイラスト、パネルなども展示しています。またリーフレットや解説資料なども準備していますので、小学生などのお子さんにもおすすめです。

10月4日まで開催していますので、この機会に常設展とあわせてぜひ見に行ってください。

【展示会情報】

展示期間：平成 27 年 8 月 4 日（火）

～ 10 月 4 日（日）

展示時間：午前 9 時～午後 5 時

展示場所：浦添グスク・ようどれ館

入館料：大人（高校生以上）1000 円・

小人（小中学生）500 円

※市内の小中学生は無料



【チチフチャー洞穴遺跡】

沖縄貝塚時代の土器や貝殻が採集され、岩陰墓も確認されたこと等から、1986 年に市の史跡に指定。その特徴は洞穴の利用方法にあり、1500 年前頃は住居、300 年前頃は墓、沖縄戦の際は避難壕に利用されていた。



【出土品】

土器などの道具や貝製の装飾品、食料にした貝や魚、イノシシなどを展示中。

○「浦添グスク・ようどれ探検」を開催しました！

8 月 16 日に催された「浦添グスク・ようどれ探検」には、前日の大雨にもかかわらず、132 名の参加者があり、浦添ようどれ・グスク周辺・

仲間集落の散策を楽しみました。

夏休みの終盤とあって「自由研究」

の材料づくりでファミリーの申し込みが多く、10 代の子ども達が 57 名も参加していたのが印象的でした。

当日は参加者を 8 班に分け、9 時半に出発、見所を二人のガイドが交代で解説を行うスタイルでしたが、なかでも子どもたちに人気があったポイントは仲間樋川（フイジャー）でした。数日間の雨でタンクは満タン。樋からの水も勢いがあり、子どもたちは樋に手を出して、水の冷たさに触れ、おおはしゃぎでした。

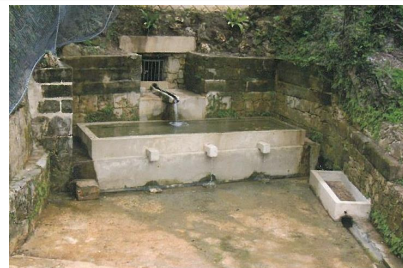
「浦添グスク・ようどれ探検」は回を重ねるごとにリピーターのお客さんが増えています。今回の反応は好評で「何度きても新しい発見がある」「いつきても新鮮なきもちになる」など好意的な声が多く寄せられました。

また二人のガイドがペアを組んで解説することも反応がよく、初参加のお客さんも「また、来年も来たい」との声が非常に多かったように思います。

前日の大雨が嘘のように天候にめぐまれ、「浦添グスク・ようどれ探検」が

無事に終了したことも良かったと思います。

スタッフ一同、また来年も皆さんの参加をお待ちしております。



【仲間樋川】

市の指定史跡。市内で最も大きな井泉のひとつ。日常の飲用水、生活用水などに利用される共同井戸でした。現在でも豊富な水量があり、集落の拝みを行う村ガ一として大切にされています。

浦添グスク・ようどれ館

【開館時間】午前 9 時～午後 5 時

【入館料】

大人（高校生以上）1000 円

小人（小中学生）500 円

※市内小・中学生は無料

【休館日】月曜日（※但し祝祭日の場合は開館）及び年末年始

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間 2-53-1

【電話】098-874-9345

【アクセス】琉球バス交通牧港線（5

番）仲間バス停から徒歩 5 分

（56 番）安波茶バス停から徒歩 10 分

※地図などの詳細は浦添市ホームページをご覧ください。